

つながりを大切にし、
かかわりを深める児童生徒の育成



ユネスコスクール便り

No.122

令和5年1月13日
大牟田市Iネットスクール
担当者通信



モスフードサービスと連携して
食育の授業づくりを行いました



昨年10月27日(木)、本市の食育推進の為に、大牟田市と株式会社モスフードサービスとの連携協定が結ばれ、食育推進校である玉川小学校が、モスバーガーと連携した食育の授業づくりに取り組みました。

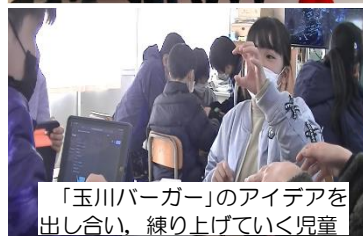
玉川校区には、豊かな自然を生かして農作物を生産している方が多くいらっしゃいます。そこで今回、校区のよさを生かした「玉川バーガー」作りを通して食について学ぶ学習に取り組みました。モスバーガーを実食して、おいしさの秘密を調べてみたり、iPadで地域素材の調理アイデアを調べたり、地域の農家の方にインタビューしたりと、様々な探究活動に取り組んだ子ども達は、その過程で栄養バランスの大切さだけでなく、地産地消の大切さや、食品ロスをなくすための工夫など、食に関する様々なことを学ぶことができました。モスフードサービスの方々とリモートで繋がり、自分達が考案した4つの玉川バーガーを生き生きとプレゼンテーションする子ども達の姿を見て、モスフードサービスの方々も、子ども達の主体的で対話的な深い学びの姿を絶賛されていました。

最後に、自分達が考案した玉川バーガーを、みんなで再現し、試食した子ども達。玉川のよさを味わい、改めてふるさとが大好きになったようでした。

1月30日には、玉川小学校で食育推進校の拡大校内研修が実施されます。本実践についても触れられると思いますので、興味のある方はぜひご参加下さい。



連携協定の締結式の様子



「玉川バーガー」のアイデアを出し合い、練り上げていく児童



リモートでプレゼンテーション



みんなで「玉川バーガー」を再現

特色ある実践事例の紹介



1年生の「緑のカーテン」 明治小学校

明治小学校では、エネルギーや自然・環境への関心を深め、「省エネ・省資源」「自然・環境の保持・美化」を実践できる児童の育成に取り組んでいます。

1年生では、アサガオで「緑のカーテンづくり」を行っています。自分達でお世話をしたアサガオがぐんぐんと育っていくことに喜びを感じています。そして、校舎の3階までも大きく育ったアサガオが教室に日陰を作ってくれ、そのおかげでクーラーを付けなくても涼しく過ごせることを体感しました。この体験を通して、自然のすばらしさとエネルギーを大切にすることを学びました。



アサガオのお世話をする児童



「地域の宝」を学ぶ羽山台小の子ども達 羽山台小学校

4年生は、世界遺産・文化財室の方をゲストティーチャーとしてお招きして、「地域の宝」について調べる学習をしています。2学期には公民館や地域、保護者の方々にもご協力頂き、「見つけよう!羽山台校区の宝」を行いました。草木八幡宮、一本橋、恵比寿さん、大間神社、金井寺などを4つのグループに分かれて巡り、それぞれの場所で西田公民館長さんや地域の方々から歴史や言い伝えなどを説明していただきました。各グループには見守り隊や保護者の方々に入っいただき、安全に回ることができました。

子ども達は、古くから伝わる校区の歴史を学習して、羽山台校区の素晴らしさを感じることができました。



地域の方から話を聞く児童